

週間情報

No. **0827**

発行: 全国消防長会 企画部 企画課 東京都港区虎ノ門 2-9-16 TEL03-4500-6622 URL: <https://www.fcj.gr.jp/>

目次

※ 目次の項目をクリックすると、該当ページへ移動します。

両 会 の 動 き

- ◆ 消防実務講習会（警防）を開催

[一般財団法人全国消防協会関東地区支部](#)

消 防 本 部 の 動 き

▽行 事

- ◆ 「廃棄予定の消防被服などを活用したオリジナルグッズ製作に関する協定」を締結

[児玉郡市広域消防本部（埼玉）](#)

- ◆ 「災害時等における消防活動・防災に関する協定」を締結

[茨城西南広域消防本部（茨城）](#)

▽訓 練

- ◆ 「令和8年度旅客船事故対応合同訓練」に参加

[小樽市消防本部（北海道）](#)

- ◆ 「宮城県東部消防指令センター大規模災害対応訓練」を実施

[宮城県東部消防指令センター（宮城）](#)

- ◆ 屋内進入・FFS・RIT訓練を実施

[中濃消防組合消防本部（岐阜）](#)

▽研 修

- ◆ 災害時の報道対応研修を開催

[田原市消防本部（愛知）](#)

- ◆ 消防法令違反是正事例研究会（告発事例）を開催

[東近江行政組合消防本部（滋賀）](#)

- ◆ 予防研修会を実施

[筑西広域市町村圏事務組合消防本部（茨城）](#)

- ◆ 令和8年度火災調査研修会を開催

[和泉市消防本部（大阪）](#)

- ◆ 「令和8年度第1回総務研修会」を実施

[鳥取県東部広域行政管理組合消防局（鳥取）](#)

▽その他

- ◆ 管内の特性に応じた危険物講習会を開催

[東京消防庁（東京）](#)

- ◆ 危険物事故防止対策研修会を開催

[奈良県広域消防組合消防本部（奈良）](#)

- ◆ 「水防実務担当者研修会」を開催

[館林地区消防組合消防本部（群馬）](#)

- ◆ 緊急走行研修を開催

[湖南広域消防局（滋賀）](#)

[目次に戻る](#)

- ◆ 東日本旅客鉄道株式会社と連携した熱中症予防啓発活動を実施
熱海市消防本部（静岡）
- ◆ 消防絵本を制作し、幼稚園で読み聞かせを実施
加古川市消防本部（兵庫）
- ◆ 「石狩防災フェスタ2026」で広報活動を実施
石狩北部地区消防事務組合消防本部（北海道）
- ◆ 園児を対象としたおもちゃ花火教室を実施
新潟市消防局（新潟）
- ◆ 救急ワークステーションの運用開始
西宮市消防局（兵庫）

消防学校からの便り

- ◆ 宮崎県消防学校・鹿児島県消防学校による初任教育交流会を実施
鹿児島県消防学校（鹿児島）

国等の動き

▽消防庁通知等

- ◆ 危険物の規制に関する規則の一部を改正する省令等の公布について
(消防危第156号、令和8年6月29日)
- ◆ 「林野火災の予防及び消火活動について（通知）」の改正について
(消防災第110号、消防広第380号、消防予第302号、消防特第118号、令和8年6月30日)
- ◆ 林野火災用消火薬剤の評価ガイドラインについて（通知）
(消防災第171号、消防広第381号、消防予第303号、消防特第119号、令和8年6月30日)
- ◆ 付加的機能・先進的機能を有した住宅用火災警報器等の普及促進に向けた先進的な取組事例等の情報提供について
(事務連絡、令和8年6月30日)
- ◆ 予防技術検定の実施に関する公示について
(事務連絡、令和8年7月2日)
- ◆ 火災予防条例（例）の一部改正について（通知）
(消防予第278号、令和8年7月3日)
- ◆ 上引き排気ダクト等の適切な管理に関する運用について（通知）
(消防予第279号、令和8年7月3日)

▽報道発表

- ◆ 令和8年安全功労者内閣総理大臣表彰（消防関係）
(令和8年7月1日、消防庁)
- ◆ 「第31回防災まちづくり大賞」の事例募集
(令和8年7月1日、消防庁)
- ◆ 令和8年度安全功労者・消防功労者総務大臣表彰
(令和8年7月3日、消防庁)

▽情報提供

- ◆ 第46回全国消防バスケットボール親善大会（愛知）の開催について
全国消防バスケットボール親善大会実行委員会
- ◆ 消防団体保険の新規・更新募集のご案内
一般財団法人全国消防協会
- ◆ 令和8年度予防技術検定の実施について
一般財団法人消防試験研究センター

「公式 X」を開設!!

～あなたのもとへ直接、素早く情報をお届け～

フォローはこちら



X (旧 Twitter) 登録用二次元コード

[目次に戻る](#)

両会の動き

◆ 消防実務講習会（警防）を開催

一般財団法人全国消防協会関東地区支部

一般財団法人全国消防協会関東地区支部では、令和8年6月26日（金）、神奈川県横浜市において、消防実務講習会（警防）を開催しました。

当講習会では、同地区支部長（横浜市消防局長）のあいさつの後、第1部において公立大学法人神奈川県立保健福祉大学教授・鈴木志保子氏から「熱中症対策について」、第2部において大阪市消防局警防部安全対策担当課長・伊藤学氏から「大阪市中心部ビル火災について」、それぞれ講義いただきました。

今後も、警防技術の向上のため、さまざまな取り組みを行ってまいります。



【講習会の様子】

消防本部の動き

▽行 事

◆ 「廃棄予定の消防被服などを活用したオリジナルグッズ製作に関する協定」を締結

児玉郡市広域消防本部（埼玉）

児玉郡市広域消防本部では、令和8年6月23日（火）、地元事業者であるワンダーファブリックと「廃棄予定の消防被服などを活用したオリジナルグッズ製作に関する協定」を締結しました。

この協定は、これまで廃棄していた消防被服を有効活用し、新たな製品（アップサイクル製品）に生まれ変わらせることで新たな価値を創出するとともに、消防行政の発信や防災・減災意識の向上を図ることを目的として締結したものです。

当日の締結式では、一点ごとに異なる表情を持つ「一点物」として、消防活動の背景や想いを身近に感じていただけるキャップやバッグなどの試作品を披露しました。

この取り組みは、廃棄コストの削減と広報効果の向上を同時に実現するものであり、本協定を通じて消防をより身近に感じていただくことが期待されます。

今後もさらなる官民連携の推進および将来的な人材確保につなげるとともに、地域に根ざした新たな消防の魅力の発信に取り組んでまいります。



【アップサイクル製品】



【締結後の記念撮影】

◆ 「災害時等における消防活動・防災に関する協定」を締結

茨城西南広域消防本部（茨城）

茨城西南広域消防本部では、令和8年6月26日（金）、古河市役所総和庁舎において、トヨタカローラ南茨城株式会社と「災害時等における消防活動・防災に関する協定」を締結しました。

この協定は、平常時および災害時における連携体制を強化し、地域の防災力向上を図ることを目的として締結したものです。

同社からは、林野火災に伴う岩手県大槌町への緊急消防援助隊派遣の際にも、車両提供などの協力をいただいております、本協定締結により、平常時および災害時の連携体制が一層強化されます。

本協定では、防災啓発、災害時の相互支援、車両技術に関する研修、訓練用車両の提供、地域イベントへの協力などを連携事項として定めています。

今後も双方が有する資源と知見を生かし、地域の防災力向上に向けて連携を深めてまいります。



【車両提供の様子】



【締結後の記念撮影】

▽訓練

◆ 「令和8年度旅客船事故対応合同訓練」に参加

小樽市消防本部（北海道）

小樽市消防本部では、令和8年6月18日（木）、新日本海フェリー株式会社所有のフェリー「あざれあ」において実施された「令和8年度旅客船事故対応合同訓練」に参加しました。

この訓練は、第一管区海上保安本部が、同社のご協力のもと企画し、「運航中のフェリー船内で事故が発生した」との想定で、多数傷病者への対応能力の向上および関係機関との連携強化を図ることを目的として、ブラインド形式で実施したものです。

当日は、当消防本部職員23人のほか、小樽海上保安部、小樽警察署、小樽市立病院（DMAT）など、合計9機関、約200人が参加し、現場指揮本部を中心とした関係機関との情報共有体制、傷病者のトリアージ手順および搬送の調整・方法を確認しました。

今後も関係機関との連携を一層強化するとともに、市民の安全・安心を守るため、現場対応能力のさらなる向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 「宮城県東部消防指令センター大規模災害対応訓練」を実施

宮城県東部消防指令センター（宮城）

宮城県東部消防指令センターでは、令和8年6月18日（木）、当指令センターにおいて、「宮城県東部消防指令センター大規模災害対応訓練」を実施しました。

この訓練は、石巻地区広域行政事務組合消防本部、登米市消防本部および気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部の3消防本部合同で、住民サービスの向上、災害対応力の強化および行財政上の効果などの観点から開始した同指令センターの共同運用に伴う連絡調整を含めた初動対応能力の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、「大規模災害が発生した」との想定で、各消防本部の警防対策本部と同指令センターとの連絡調整や初動対応について、各消防本部の「大規模災害対応計画」、「宮城県東部消防指令センター大規模災害対応マニュアル」などにに基づき訓練を実施し、各種計画の実効性を確認しました。



【宮城県東部消防指令センター】



【訓練の様子】

◆ 屋内進入・FFS・RIT訓練を実施

中濃消防組合消防本部（岐阜）

中濃消防組合消防本部では、令和8年6月1日（月）から21日（日）までの期間中、岐阜県および岐阜県警察本部にご協力いただき、解体予定の警察宿舎を活用して、火災時の屋内進入・FFS・RIT訓練を実施しました。

この訓練は、実践的な活動を通じて、屋内進入時における活動技術の向上を図ることを目的として実施したものです。

訓練では、閉ざされた空間への強制進入方法や屋内進入時の活動要領を確認するとともに、ドアコントロールや放水方法により、室内の火災性状を必要以上に変化させない活動技術に磨きをかけました。

また、「消防職員が建物内部で活動中に非常事態に陥った」との想定で、脱出方法や無線通信による情報伝達、隊員同士の連携による安全確保の手順を確認し、実践的な環境だからこそ得られる学びの多い訓練となりました。

今後も地域の安全・安心を守るため、現場に即した訓練に取り組んでまいります。



【訓練の様子】

※左：資器材を活用して負傷した隊員を救出する様子

※右：視界不良の中ホースを伝い脱出する様子

[目次に戻る](#)

▽研 修

◆ 災害時の報道対応研修を開催

田原市消防本部（愛知）

田原市消防本部では、令和8年6月19日（金）、田原市消防署において、災害時の報道対応研修を開催しました。

これは、災害時の報道対応要領を習得し、報道対応に関する共通認識を深めることを目的として実施したものです。

当日の座学研修では、報道対応時の注意点や防災分野における個人情報の取り扱いに関する講義を行いました。

また、実技研修では、火災事案2件、集団災害事案1件の想定訓練を行い、災害時の報道発表までの一連の流れや、発表に使用するポジションペーパー（組織の対応方針をまとめた資料）の作成方法などを共有しました。

今後も、適切な情報発信を通じて、円滑な消防活動の遂行に努めてまいります。



【研修の様子】

◆ 消防法令違反是正事例研究会（告発事例）を開催

東近江行政組合消防本部（滋賀）

東近江行政組合消防本部では、令和8年6月24日（水）、消防法令違反是正事例研究会（告発事例）を開催しました。

この研究会は、管内の防火対象物における「屋内消火栓設備の機能不全」に対する告発事例を題材に、消防法令違反の告発に関する知識および要領を学び、違反処理能力の向上を図ることを目的として開催したものです。

当日は、査察および消防用設備担当者が参加し、告発事例の検討を行った後、講師から講評を受けました。

今後も、同研究会を継続的に開催し、予防業務を適正に執行する能力の向上を図るとともに、住民の安全・安心の確保に努めてまいります。



【研究会の様子】

◆ 予防研修会を実施

筑西広域市町村圏事務組合消防本部（茨城）

筑西広域市町村圏事務組合消防本部では、令和8年6月22日（月）から26日（金）までの5日間、予防研修会を実施しました。

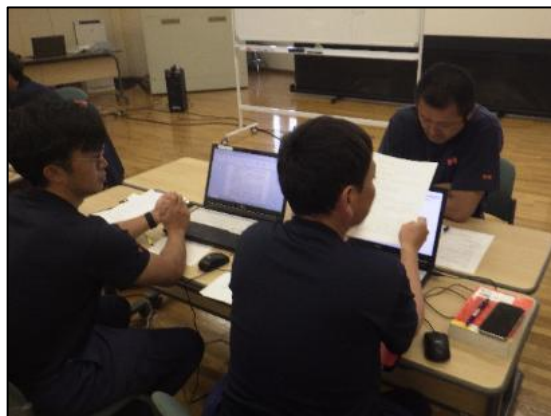
この研修会は、予防業務に関する専門知識および技術の向上を図ることを目的として、「火災調査」、「危険物施設立入検査」および「違反是正」をテーマに実施したもので、予防業務を担当する職員を中心に69人が参加しました。

期間中は、「火災調査」において、燃焼模擬家屋における焼損状況の見分や、収去した電気製品の鑑識を実践しました。

また、「危険物施設立入検査」では、経験の浅い職員を対象に消防庁舎の危険物施設を活用し、立入検査の手順を確認しました。

「違反是正」では、立入検査の中心となる職員を対象に、重大違反防火対象物に対する違反処理の進め方を学びました。

今後も予防業務に必要な知識および技術の向上を図り、地域住民の安全・安心の確保に努めてまいります。



【研修会の様子】

◆ 令和8年度火災調査研修会を開催

和泉市消防本部（大阪）

和泉市消防本部では、令和8年6月25日（木）、26日（金）の2日間、和泉消防署において火災調査研修会を開催しました。

この研修会は、近年、火災調査がより高度化・専門化する一方で、火災件数の減少に伴い、職員が実火災を経験する機会が減少している現状を踏まえ、火災調査体制の強化と職員の資質向上を図ることを目的として実施したものです。

研修会には、消防大学校消防研究センターの梶井氏を講師としてお招きし、初日は、府内南ブロックの火災調査担当者50人が参加し、「火災調査における鑑識」について学び、2日目は当消防本部の職員を対象に、「火災現場における聞き込み要領」と、近年増加傾向にある「リチウムイオンバッテリー火災の基礎知識と鑑識要領」についてご講演いただきました。

今後も、職員の資質向上を図るとともに、火災調査体制の一層の強化に努めてまいります。



【研修会の様子】

◆ 「令和8年度第1回総務研修会」を実施

鳥取県東部広域行政管理組合消防局（鳥取）

鳥取県東部広域行政管理組合消防局では、令和8年6月29日（月）、30日（火）の2日間、「令和8年度第1回総務研修会」を実施しました。

この研修会は、職員が職場内外で円滑な意思疎通および適切な自己表現を実践できるよう、対人コミュニケーション能力の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、職場におけるメンタルヘルスの維持・向上をテーマに、エゴグラム（性格傾向を分析する心理手法）を活用した自己理解および他者理解と、アサーション（自己主張と他者尊重を両立させるコミュニケーション手法）を中心とした対人コミュニケーション手法について理解を深めました。

エゴグラムでは、自身の自我状態を5つの領域（性格特性）でグラフ化し、客観的に把握することで、相対的に低い自我状態を意識して高めることが、対人関係やストレスへの対応力の向上につながることを学びました。

また、表情や声の調子などの非言語的コミュニケーションや、相手の価値観を尊重する姿勢の重要性について理解を深めました。

さらに、アサーションでは、自分と相手の双方を尊重しながら率直に意思を伝える方法や、感情を整理して冷静に対応する手法を学びました。

今後も、職員が能力を発揮できる風通しの良い職場環境づくりと、安全・確実な消防行政の推進に向けた人材育成に引き続き取り組んでまいります。



【研修会の様子】

▽その他

◆ 管内の特性に応じた危険物講習会を開催

東京消防庁（東京）

東京消防庁丸の内消防署では、危険物安全週間に伴い、令和8年6月10日（水）、11日（木）の2日間、危険物施設従事者などを対象とした危険物講習会を集合形式で開催しました。

この講習会は、管内の特性に応じた危険物施設における事故事例や、近年増加しているリチウムイオン電池火災などの安全対策について周知し、各事業所の自主防災体制を強化することを目的として実施したものです。

当日は、一般取扱所や地下タンク貯蔵所に関する事故事例と安全対策についての講演を行いました。

また、電気火災実験のほか、リチウムイオン電池からの火災を防ぐための注意点や、出火時の消火方法についてAR（拡張現実：現実の映像にデジタルの映像を重ね合わせて表示する技術）訓練機器を使用した訓練を行いました。

2日間で40事業所・56人が参加し、受講者からは「危険物や電気火災の危険性を再認識でき、非常に有意義な講習だった」などの感想が寄せられました。

今後も、管内の事業所に対して、危険物事故の防止と地域防災力のさらなる向上に努めてまいります。



【講習会の様子】

◆ 危険物事故防止対策研修会を開催

奈良県広域消防組合消防本部（奈良）

奈良県広域消防組合消防本部では、令和8年6月12日（金）、東洋シール工業株式会社葛城工場において、危険物業務に携わる従業員を対象に、危険物事故防止対策研修会を開催しました。

この研修会は、危険物の特性や安全な貯蔵・取り扱い方法を再認識してもらい、危険物事故の防止につなげていただくことを目的として、例年開催しているものです。

当日は、危険物の特性について説明するとともに、事業所で過去に発生した事故事例を映像資料を用いて紹介したほか、モバイルバッテリーなどの身近な危険物に係る事故事例や対策について説明しました。

参加者からは、「危険物の特性を深く理解できた」、「静電気対策の重要性を再確認でき、今後の業務に生かしたい」、「モバイルバッテリーの使用方法について注意したい」といった感想が寄せられました。

今後も、継続して啓発活動に取り組んでまいります。



【研修会の様子】

◆ 「水防実務担当者研修会」を開催

館林地区消防組合消防本部（群馬）

館林地区消防組合消防本部では、令和8年6月23日（火）、防災教室において、関係機関（県・市・町・警察）の水防担当者を対象とした「水防実務担当者研修会」を開催しました。

この研修会は、当消防本部が指定水防管理団体としての役割を果たすため、関係機関の実務担当者に対し、水防計画を周知するとともに、水害発生時に各機関が取るべき対応要領の共有を図ることを目的として実施したものです。

当日は、各機関の対応の違いや課題を共有し、相互理解を深めました。

今後も、住民の安全・安心を守るため、関係機関との研修会や訓練を通じて、有事の際に適切な連携が図れるよう努めてまいります。



【研修会の様子】

◆ 緊急走行研修を開催

湖南広域消防局（滋賀）

湖南広域消防局では、令和8年6月22日（月）、23日（火）の2日間、東消防署において、三協高圧株式会社の従業員を対象に緊急走行研修を開催しました。

この研修は、ガス漏えいなどの災害発生時に同社の車両が緊急走行により現場へ出動することを踏まえ、緊急走行の経験がない従業員を対象に、有事の際に安全な緊急走行が実施できるよう、基礎知識および走行技術の習得を目的として実施したものです。

研修は座学と実技の二部構成で行い、座学では緊急走行に関する関係法令および走行時の留意事項について確認しました。

実技では、車両点検・安全確認のほか、交差点通過などを想定した走行訓練を実施しました。

今後も日常業務の安全性向上に向けて相互連携を密にし、地域の安全・安心の確保に努めてまいります。



【研修の様子】

◆ 東日本旅客鉄道株式会社と連携した熱中症予防啓発活動を実施

熱海市消防本部（静岡）

熱海市消防本部では、令和8年6月26日（金）、JR熱海駅において、東日本旅客鉄道株式会社にご協力いただき、熱中症予防啓発活動を実施しました。

この取り組みは、熱中症の危険が高まる本格的な夏季を迎える前に、市民や観光客に熱中症予防を呼びかけることを目的として実施したものです。

当日は、消防職員および熱海駅員が同駅利用者に「熱中症予防啓発リーフレット」などを配布するとともに、ホーム上のLED電光掲示板や音声アナウンスを活用し、こまめな水分補給と熱中症予防を呼びかけました。

今後も、さまざまな機会を通じて熱中症予防の啓発に努めてまいります。



【リーフレット配布の様子】



【LED電光掲示板によるアナウンス】

◆ 消防絵本を制作し、幼稚園で読み聞かせを実施

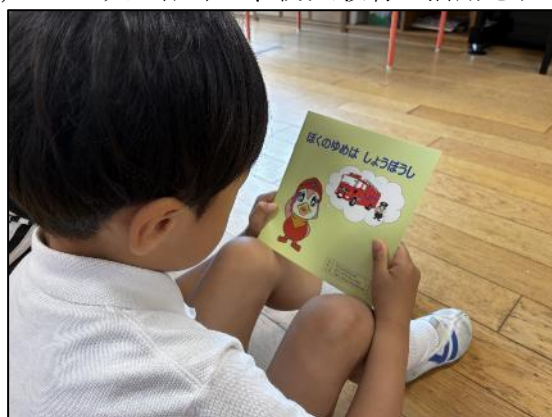
加古川市消防本部（兵庫）

加古川市消防本部では、令和8年6月26日（金）、兵庫大学附属加古川幼稚園において、兵庫大学教育学部との官学連携事業として制作した幼児向け消防絵本「ぼくのゆめは しょうぼうし」を活用し、同大学の学生が園児へ読み聞かせを実施しました。

この取り組みは、幼少期から防火意識を育むとともに、学生による読み聞かせを通じて、若い世代の火災予防への関心を高めることを目的として実施したものです。

当日は、物語を通じて火災予防や住宅防火、消防職員の仕事、地域で活躍する消防団の役割などを分かりやすく伝え、園児たちは楽しみながら防火について学びました。

なお、制作した絵本は、加古川市内の幼稚園、認定こども園および保育所などに通う5歳児約1,600人へ配布し、防火教育に活用されます。



【製作した絵本】



【大学生による読み聞かせの様子】

◆ 「石狩防災フェスタ2026」で広報活動を実施

石狩北部地区消防事務組合消防本部（北海道）

石狩北部地区消防事務組合消防本部では、令和8年6月28日（日）、石狩市役所特設会場で開催された「石狩防災フェスタ2026」において、広報活動を実施しました。

この広報活動は、来場者の防火・防災意識の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、天候にも恵まれ、4,000人を超える来場者が訪れ、会場は大いににぎわいました。

石狩消防署および石狩消防団が参加し、消防団車両や高規格救急車、救助工作車の展示のほか、40ミリホースを使用した放水体験や初期消火体験を実施し、来場者は楽しみながら防災知識を深めました。

また、住宅用防災機器などの展示や土のう積み体験、土砂災害対応訓練の紹介、煙発生装置を使用した煙道体験など、実践的な防災対策を学ぶ機会を提供したほか、子ども向けに、防火衣を着てミニ消防車に乗る記念撮影コーナーを設け、家族連れに好評でした。

さらに、消防団への入団を呼びかけるチラシや、救急車デザインのシール、消防カードなどを来場者に配布し、防火・防災意識の向上を図りました。



【放水体験の様子】



【土砂災害対応訓練の様子】

◆ 園児を対象としたおもちゃ花火教室を実施

新潟市消防局（新潟）

新潟市消防局では、令和8年6月29日（月）、園児を対象としたおもちゃ花火教室を実施しました。

これは、夏を迎えるに当たり、おもちゃ花火による火災や事故、けがを未然に防止し、安全な遊び方を学ぶことを目的として実施したものです。

当日は、職員が日本煙火協会から無償提供されたおもちゃ花火を使用し、「手持ち花火の正しい遊び方」、「大人と一緒にやること」、「水バケツの準備」、「使用後の確実な消火」について説明し、園児と「大人の言うことをしっかり聞いて、楽しい夏休みにする」ことを約束しました。

また、消防団員による火災予防の紙芝居も行い、園児は安全な花火の使用方法について理解を深めました。

今後も、高齢者から子供まで市民に伝わる火災予防広報を展開してまいります。



【おもちゃ花火教室の様子】



【実施後の記念撮影】

◆ 救急ワークステーションの運用開始

西宮市消防局（兵庫）

西宮市消防局では、令和8年7月1日（水）、兵庫県立西宮総合医療センターの開院に合わせて、同センターの敷地内において救急ワークステーションの運用を開始しました。

これは、同センターの救命救急センターに隣接する立地の強みを生かし、医療機関と密接に連携し、より迅速かつ高度な救急医療体制を構築することを目的として実施したものです。

同ステーションは、救急隊の実習および運用を行う「教育」と「救命」の拠点として、当市に初めて設置しました。

これまでのドクターカーは、救急隊が医療機関などへ医師を迎えに行き、救急現場へ向かう「ピックアップ方式」でしたが、今後は同ステーションから医師と救急隊が同時に現場へ向かう「ワークステーション方式」へ移行します。

これにより、救急現場での医師による医療介入までの時間を短縮し、一刻を争う事態においても、早期に高度な医療処置を開始できる体制を実現します。



【西宮市消防局救急ワークステーション】

消防学校からの便り

◆ 宮崎県消防学校・鹿児島県消防学校による初任教育交流会を実施

鹿児島県消防学校（鹿児島）

鹿児島県消防学校では、令和8年6月26日（金）、宮崎県消防学校において、宮崎県消防学校の学生34人と鹿児島県消防学校の学生65人による初任教育交流会を実施しました。

この交流会は、初任教育におけるこれまでの訓練成果を披露するとともに、基礎的な知識、技術、体力、精神力およびチームワークのさらなる向上を図り、両校の学生間の交流を促進することを目的として実施したものです。

当日は、各種訓練種目を通じて互いの訓練成果を発揮するとともに、ランチミーティングでは両校の学生が意見交換を行い、親睦を深めました。

今後も、この交流会で得た経験を生かし、消防職員として必要な基礎をしっかりと身に付け、住民の安全・安心を守るため、日々努力してまいります。



【訓練成果の披露（ホースバトン搬送リレー）】



【交流会後の記念撮影】

国等の動き

▽消防庁通知等

◆ 危険物の規制に関する規則の一部を改正する省令等の公布について

（消防危第156号、令和8年6月29日）

消防庁危険物保安室長から各都道府県消防防災主管部長、各消防本部消防長、非常備町村消防防災主管部局長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

危険物の規制に関する規則の一部を改正する省令（令和8年総務省令第83号）及び危険物の規制に関する技術上の基準の細目を定める告示の一部を改正する件（令和8年総務省告示第241号）が令和8年6月29日に公布されました。

貴職におかれましては、下記事項に留意の上、その運用に十分配慮されるようお願いいたします。
—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/20260629_kiho.pdf）に掲載されています。

（連絡先）
消防庁危険物保安室
齋藤、羽田野、池田
TEL：03-5253-7524
E-mail：fdma.hoanshitsu@soumu.go.jp

◆ 「林野火災の予防及び消火活動について（通知）」の改正について
（消防災第110号、消防広第380号、消防予第302号、消防特第118号、
令和8年6月30日）

消防庁防災課長、消防庁広域応援室長、消防庁予防課長、消防庁特殊災害室長から各都道府県消防防災主管部長、各消防本部消防長、非常備町村消防防災主管部局長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

平素より消防防災行政の推進に御尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和7年2月の大船渡市林野火災を踏まえ、「大船渡市林野火災の教訓を踏まえた今後の消防防災対策の推進について」（令和7年8月29日付け消防庁次長通知）において、個別の消火薬剤の火災に対する有効性や健康・環境への影響に関する評価方法等とともに具体的な活用方法を示すこととしていました。

ー以下省略ー

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/260630_bousai_110-kouiki_380-yobou_302-tokusai_118.pdf) に掲載されています。

【問合せ先】

- 林野火災の消火活動のあり方に関すること
消防庁国民保護・防災部防災課
知念災害対策官・中山係長
TEL：03-5253-7525
E-mail：bousaikikaku@soumu.go.jp
- ヘリコプターによる消火薬剤を用いた空中消火に関すること
消防庁国民保護・防災部防災課広域応援室
村澤航空専門官・室井係長・佐藤事務官
TEL：03-5253-7569
E-mail：fdma-koukuu@ml.soumu.go.jp
- 消火薬剤の火災の有効性や環境影響等に関すること
消防庁予防課
明田専門官・羽田野補佐・山本係長・加藤係長
TEL：03-5253-7523
E-mail：yobo@soumu.go.jp
- 林野火災の広報・啓発に関すること
消防庁予防課特殊災害室
吉田課長補佐・緑川事務官
TEL：03-5253-7528
E-mail：tokusaishitsu@soumu.go.jp

◆ 林野火災用消火薬剤の評価ガイドラインについて（通知）

（消防災第171号、消防広第381号、消防予第303号、消防特第119号、令和8年6月30日）

消防庁防災課長、消防庁広域応援室長、消防庁予防課長、消防庁特殊災害室長から各都道府県消防防災主管部長、各消防本部消防長、非常備町村消防防災主管部局長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

平素より消防防災行政の推進に御尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

消防庁では、「大船渡市林野火災を踏まえた消防防災対策のあり方に関する検討会」報告書において、林野火災用消火薬剤について、火災に対する有効性や健康・環境への影響に関する評価方法の検討等が提言されたことを踏まえ、昨年10月から「林野火災用消火薬剤の評価方法等に関する意見聴取会」を開催してきたところです。

ー以下省略ー

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/260630_bousai_110-kouiki_380-yobou_302-tokusai_118.pdf) に掲載されています。

◆ 付加的機能・先進的機能を有した住宅用火災警報器等の普及促進に向けた先進的な取組事例等の情報提供について

（事務連絡、令和8年6月30日）

消防庁予防課から各都道府県消防防災主管課、各消防本部、非常備町村消防防災主管課あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

消防庁では、平成28年12月に発生した糸魚川市大規模火災を契機に、火災を早期覚知・通報するための方策として、住宅用火災警報器と連動した戸外警報器や自動火災通報システムの導入を促進してきたところです。

一方、昨年度開催した「大分市大規模火災を踏まえた消防防災対策のあり方に関する検討会」において実施した消防本部等へのアンケートでは、これらの機器等について具体的な取組を推進している地域があるものの、現状において幅広い展開には至っていないのではないかと考えられる結果となりました。

ー以下省略ー

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/728e77beb4392487f2a0b721393d1795c8a96f9c.pdf>) に掲載されています。

＜連絡先＞

消防庁予防課予防係

担当：谷川、室中

電話：03-5253-7523

mail：yoboka-y@ml.soumu.go.jp

◆ 予防技術検定の実施に関する公示について

(事務連絡、令和8年7月2日)

消防庁予防課から各都道府県消防防災主管課、各消防本部、非常備町村消防防災主管課あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

「消防力の整備指針第32条第3項の規定に基づき、予防技術資格者の資格を定める件」(平成17年消防庁告示第13号)に定める予防技術検定の実施について、一般財団法人消防試験研究センターから下記のとおり公示されましたのでお知らせします。

なお、予防技術検定の問題は、令和8年4月1日を基準として施行されている法令等に基づいて出題されることを申し添えます。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/260702_yobou_jimul.pdf) に掲載されています。

◆ 火災予防条例(例)の一部改正について(通知)

(消防予第278号、令和8年7月3日)

消防庁次長から各都道府県知事、各指定都市市長、各消防本部消防長、非常備町村消防防災主管部局長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

今般、焼肉店等で使用される火気器具の周囲に設置される排気ダクトに起因する火災の発生状況等に鑑み、令和7年度に開催した厨房設備等の基準に関する検討部会の検討結果を踏まえ、火災予防条例(例)(昭和36年11月22日付け自消甲予発第73号)の一部を別添のとおり改正することとしました。(別添省略)

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/260703_yobou_278.pdf) に掲載されています。

消防庁予防課予防係 担当：川合、谷川、櫻川 電話：03-5253-7523

◆ 上引き排気ダクト等の適切な管理に関する運用について（通知）

（消防予第279号、令和8年7月3日）

消防庁予防課長から各都道府県消防防災主管部長、各消防本部消防長、非常備町村消防防災主管部局長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

今般、「火災予防条例（例）の一部改正について（通知）」（令和8年7月3日付け消防予第278号）により、火災予防条例（例）（昭和36年11月22日付け自消甲予発第73号。以下「条例（例）」という。）の一部を改正し、調理に用いる器具の周囲で使用する排気ダクト（以下「上引き排気ダクト」という。）等の適切な管理について新たに規定の整備を行ったところです。

併せて、上引き排気ダクト等について、「厨房設備等の基準に関する検討部会報告書」（令和8年3月）を踏まえ、改正後の条例（例）（以下「新条例（例）」という。）の運用等を下記のとおりとりまとめましたので、その取扱いに十分配慮されますようよろしくお願いします。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/260703_yobou_279.pdf）に掲載されています。

消防庁予防課予防係
担当：川合、谷川、櫻川
電話：03-5253-7523

▽報道発表

◆ 令和8年安全功労者内閣総理大臣表彰（消防関係）

（令和8年7月1日、消防庁）

令和8年安全功労者内閣総理大臣表彰（消防関係）受賞者は、次のとおりです。

個人2名、団体4団体

（受賞者名等は、別紙の受賞者名簿に記載されています。）（別紙省略）

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/260701_soumu_1.pdf）に掲載されています。

連絡先
消防庁総務課
吉田係長・小沼事務官
電話 03-5253-7521（直通）
E-mail:fdma-soumukahyoushou_atmark_soumu.go.jp
※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示
しております。送信の際には、「@」に変更してください。

◆ 「第31回防災まちづくり大賞」の事例募集

(令和8年7月1日、消防庁)

「防災まちづくり大賞」は、地域に根ざした団体・組織等、多様な主体における防災に関する優れた取組や、防災・減災、防火に関する幅広い視点からの効果的な取組等を表彰し、広く全国に紹介することにより、地域における災害に強い安全なまちづくりの一層の推進に資することを目的として実施しています。

阪神・淡路大震災を契機に平成8年度に創設され、31回目となる本年度は、本日から令和8年9月11日（金）までの間、取組事例を募集します。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/DAI31KAI.pdf>) に掲載されています。

＜問合せ先＞

消防庁国民保護・防災部地域防災室

伊藤課長補佐、廣瀬事務官、関島事務官

TEL：03-5253-7561

E-mail：chiikibousai/atmark/ml.soumu.go.jp

※迷惑メール防止のため、「@」を「/atmark/」と表示しておりますので、送信の際は、「@」に置き換えてください。

◆ 令和8年度安全功労者・消防功労者総務大臣表彰

(令和8年7月3日、消防庁)

令和8年度安全功労者・消防功労者総務大臣表彰受賞者は、次のとおりです。

安全功労者表彰受賞者 個人20名、団体9団体

消防功労者表彰受賞者 消防団員1名、女性防火クラブ員3名

(受賞者名等は、別紙の受賞者名簿に記載されています。) (別紙省略)

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/260703_soumu_3.pdf) に掲載されています。

連絡先

消防庁総務課

吉田係長・小沼事務官

電話 03-5253-7521 (直通)

E-mail:fdma-soumukahyoushou_atmark_soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。送信の際には、「@」に変更してください。

▽情報提供

◆ 第46回全国消防バスケットボール親善大会（愛知）の開催について

全国消防バスケットボール親善大会実行委員会

当実行委員会では、全国の消防本部のバスケットボール同好者との交流を図り、相互の理解を深め、今後の消防業務に資することを目的として、全国消防バスケットボール親善大会を愛知県岡崎市において、下記のとおり開催します。

各消防バスケットチームの競技レベルはさまざまですのでお気軽に参加いただけます。

まずはお問い合わせください。大会1日目終了後に交流も兼ねた懇親会も予定しています。

1 開催日時

(1) 1日目 令和8年12月11日（金） 12時00分から18時00分まで

(2) 2日目 令和8年12月12日（土） 9時00分から15時00分まで

2 開催場所

(1) 会場 岡崎市体育館

(2) アクセス 愛知循環鉄道「六名駅」徒歩約5分

3 申込方法

下記の問い合わせ先までお電話いただいた後、(1)および(2)を記載し、メールアドレスに送信してください。

(1) 消防本部及び担当者名

(2) 連絡先（電話番号およびメールアドレス）

4 締切日

令和8年9月18日（金）

※参加チーム数に限りがありますので、お早めにお申し込みください。（先着順）

5 参加料

1チーム 35,000円

6 その他

申し込みをされました消防本部には、実行委員会から大会申込書を送付します。



【問い合わせ先】

全国消防バスケットボール親善大会実行委員会

代表： 山中 徹郎

電話：080-5304-4545

メール： yamanaka5628@yahoo.co.jp

Instagram：@firebasketball119

[目次に戻る](#)

◆ 消防団体保険の新規・更新募集のご案内

一般財団法人全国消防協会

一般財団法人全国消防協会（以下「協会」という。）では、会員（全国の消防職員）の皆様の助け合いの制度として大変有利な消防団体保険をご案内しております。

ご存じのとおり消防団体保険は、お手頃な保険料と充実の保障（補償）内容で、全国の消防職員とご家族だけが加入できる特別な保険です。

新たな保険への加入をご検討の方、すでに加入している保険の見直しをご検討されている方は、この機会に是非ご加入ください。

また、退職を予定されている皆様にも継続して保障（補償）が受けられる保険をご提供させていただきますので、是非ご検討ください。

★消防団体保険はお得な保険！！

- 団体割引を適用した**お手頃な保険料**
- 各種ラインアップから**充実の保障（補償）**を選択可能
- 簡単な告知のみ**で加入でき、**医師の診断書は不要**
- ライフステージに応じて**毎年保障（補償）内容の見直しが可能**
- グループ保険と医療保障保険には、**配当金があり実質負担が軽減**
- 退職後**も団体割引を適用した**お手頃な保険料**で継続加入可能

★ご案内している保険のラインアップ！！

保険の名称	保険期間	申込書提出締切
全国消防グループ保険 医療費支援制度 医療保障保険	令和8年12月1日～令和9年5月31日	<u>令和8年9月1日（火）</u> （各本部担当者への提出期日です。）
消防職員傷害保険	令和9年1月1日～令和10年1月1日	<u>令和8年8月19日（水）</u> （各本部担当者への提出期日です。）
消防職員医療保険	〈ご注意〉 今年度より年1回の更新募集になります。 次回の中途募集（1月）は、新規加入のみで内容変更・脱退の受付は行いません。	
弁護のちから		
消防職員賠償責任保険	令和8年10月1日～令和9年4月1日 〈ご注意〉 申込書提出締切日が、パンフレットでは令和8年7月31日（金）となっておりますが、受付期間延長しました。	<u>令和8年8月31日（月）</u> （WEBクローズ日および協会への申込書提出期日です。）

★充実した保障（補償）内容！！

保険名称	主な保障（補償）内容等
全国消防グループ保険	① 死亡・高度障害を加入コースに応じて 保険金（一時金）165万円～2,400万円まで保障 ② 5日以上のケガによる入院を1日目から保障 ③ 現職中に加入すれば退職後も80歳まで継続加入可能 ※ 加入コースの制限があります。 ④ 配当金制度による実質保険料の負担軽減 【令和6年度の配当率】50.928% ※ 来年3月末でご退職予定で、現在未加入の方は今回が最後の加入チャンスとなります。（現職中に加入していれば、退職後も80歳まで継続加入できます。）
医療費支援制度	① 病気やケガで入院した場合に、入院日数に関わらず、1回の入院につき、入院初期費用保険金として、一時金30,000円を給付 ② 入院月数に応じて1月につき、入院支援保険金として25,000円を給付 (例) 日帰り入院の場合 30,000円+25,000円=55,000円を給付 ③ 現職中に加入していれば退職後も80歳まで継続加入可能
医療保障保険	① 5日以上のケガと病気による入院を5日目から保障 ② 現職中に加入していれば退職後は「消防退職者医療保険」（5,000円タイプ）に無告知で移行加入可能 89歳まで継続加入可能 ③ 配当金制度による実質保険料の負担軽減 【令和6年度の配当率】40.761%
消防職員傷害保険	① ケガによる通院、入院を1日目から補償 ② ケガによる手術、死亡、後遺障害を補償 ③ 天災危険補償特約、熱中症危険補償特約、特定感染症危険補償特約を付帯 ④ 個人賠償・携行品・ゴルファーの各種オプションを追加可能

保険名称	主な保障（補償）内容等
消防職員医療保険	① ケガと病気による入院を1日目から補償 ② ケガと病気による手術を補償 ③ ケガによる死亡は死亡保険金100万円、病気による死亡は葬祭費用を100万円を限度に実費補償 ④ 先進医療に対する補償、天災危険補償特約付帯
弁護のちから	① 弁護士へ法律相談を行うときに負担した法律相談費用・書類作成費用を補償 ② 弁護士へトラブル解決の委任を行うときに負担した弁護士委任費用を補償
消防職員賠償責任保険	① 職員個人が被る法律上の損害賠償金や訴訟費用を補償 ② 救急救命士の専門業務に伴う損害も補償 ③ 職員が第三者からの迷惑行為による被害を被った場合の弁護士費用等を補償

- 保険の詳細につきましては、各消防本部に送付いたしましたパンフレット等または協会ホームページ（<https://www.ffaj-shobo.or.jp/hoken/index.html>）をご覧ください。
- 本件についてご不明な点等は、以下の本協会各担当までお問い合わせください。

【全国消防グループ保険（生命保険）】

問い合わせ先：業務課

担 当：岩澤^{いわさわ}、石井^{いしい}（美^み）、石渡^{いしわた}、横山^{よこやま}

電 話：0120-119-147

電 話：03-4500-6625

受 付 時 間：土日・祝日除く 9：00～17：00

【消防職員傷害保険・消防職員医療保険・弁護のちから・消防職員賠償責任保険】

問い合わせ先：全国消防保険サービス㈱（協会損害保険取扱代理店）

担 当：高本^{こうもと}、矢木^{やぎ}、安江^{やすえ}、小沢^{おざわ}

電 話：0120-065-988

電 話：03-4500-6626

受 付 時 間：土日・祝日除く 9：00～17：00

◆ 令和8年度予防技術検定の実施について

一般財団法人消防試験研究センター

令和8年度の予防技術検定を、次のとおり実施します。

本検定の受検申請方法は、電子申請のみです。また、受検案内についてもホームページへの掲載のみとなりますので、詳細は当センターのホームページをご確認ください。

- 1 検定実施年月日
令和8年12月6日（日）午後2時00分から午後4時30分
- 2 受検申請期間
令和8年7月8日（水）から8月31日（月）まで
- 3 検定区分
防火査察・消防用設備等・危険物
- 4 受検申請方法
当センターホームページから電子申請 (<https://www.shoubo-shiken.or.jp>)
- 5 受検案内
当センターホームページに掲載
- 6 合格発表日
令和9年1月8日（金）（予定）
- 7 その他

団体申請には、消防本部ごとの「団体コード」が必要です。申請の際、代表者の方は次の連絡先までお問合せください。



【予防技術検定ホームページの二次元コード】

【問い合わせ先】

一般財団法人 消防試験研究センター
予防技術検定担当

TEL 03-3597-0220（代表）
（9:00～17:00（土日祝を除く））

消防本部の“今”を「週間情報」へ

～身近な出来事、旬な情報を週間情報で発信しませんか？～

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

- ・原則毎週刊行しており、速報性のある広報となっています。

【留意事項】

- ・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練などを中心に掲載しています。
- ・文章は、200～400文字程度、写真は、1～2枚。
- ・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。

【問合せ】：「週間情報」担当・企画課 中西 TEL:03-4500-6622

原稿データは、【専用投稿フォーム】 <https://forms.office.com/r/GxWJXpdc03>
に投稿願います。



消防デジタルイラスト募集中!!!

～あなたのイラストが全国の消防業務を支える力となります～

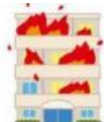
- あなたのイラストが、全国の消防本部で、広報・啓発・訓練・教材作成など、消防業務の様々な場面で活用されます。
- 全国消防長会ホームページの「令和版 消防デジタルイラスト集」に掲載されます。
- ホームページ掲載時には、「〇〇消防本部〇〇作」と作者名を明記し、あなたの名前と作品が、全国に紹介されます。

詳細は、全国消防長会ホームページを検索!!!



「消防行政相談事例集」を掲載中

- これまでに蓄積された相談事案と顧問弁護士の知見を「消防行政相談事例集」として取りまとめ、全国消防長会の情報管理システムに掲載しています。
- 行政相談でこれまでに対応した事例の中から、参考になるものを紹介しています。
- 掲載している相談は、内容を整理・一般化した概要と、それに対する顧問弁護士の回答です。
- 掲載する事例は、今後、随時追加していきます。



全国消防長会・一般財団法人全国消防協会「公式 X」を開設!

～あなたのもとへ直接、素早く情報をお届け～

- 全国消防長会・一般財団法人全国消防協会「公式 X」を開設しました。フォローをお願いします。
令和8年度から定期刊行物（会報・ほのお・週間情報 ※週間情報は既に公開中）をホームページ上で公開することに伴い、「X」を通じて掲載情報などを素早くお届けします。
フォロー（アカウント登録）していただくことにより、各消防本部の先進的な取り組みや本会の取り組みなど多くの情報をお届けいたします。



フォローはこちら



X (旧 Twitter) 登録用二次元コード

